

第3学年 技術・家庭科（家庭分野） 年間学習計画

学習目標：実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

学期	単元・題材	学習内容	学習のポイント
前期	わたしたちの成長と家族 ・幼児期をふり返ってみよう ・どのように成長してきたのだろう 幼児の遊びについて考えよう	・幼いころのわたしと家族 ・身近な幼児の姿 ・体の発達 運動機能・生理的機能 発達個人差 ・心の発達 情緒の発達・社会性の発達 ・ことばの発達 ・基本的な生活習慣の習得 ・遊びの特徴とおもちゃの役割 ・遊びを豊かにする環境 ・	・成長過程と、家族やまわりの人々とのかかわりについて考えることができる ・運動機能、生理的機能の発達とその特徴をまとめることができる。3-(1)、2-(6) ・発達には個人差があることを理解する ・情緒や社会性の内容と発達の様子を理解し、家族や周囲の人とのかかわりが影響することを知ることができる。 ・基本的な生活習慣は、生活の自立の基礎となることを理解する。 ・ことばや生活習慣の形成には、周囲の人の援助が大切であることを理解する ・幼児にとっての遊びの大切さを理解できる。 ・遊びは幼児のさまざまな能力の発達をうながすことがわかる。
後期	遊び道具をつくってみよう わたしたちと家族、地域 わたしたちの消費と環境	おもちゃをつくらう ・よりよい家族関係を考えよう ・家族と地域のかかわりを考えよう ・消費生活について考えよう ・消費者としての自覚をもとう ・生活の中で環境への影響を考えよう	・身近な材料を利用して、安全に能率よくおもちゃをつくることことができる。 ・家族と地域の人々はどのようなかかわりがあるか考えることができる。4-(6) ・地域の人々とのかかわり方を考えることができる。 ・物資やサービスを適切に選択するためには、情報収集とその活用が重要であることを理解する。 ・いろいろな販売方法の利点や問題点をまとめることができる。 ・さまざまな支払い方法の特徴を理解する。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ・自分の消費生活を見直すことができる ・環境に配慮した消費生活の工夫をすることができる。

評価の観点・評価方法

- ① 幼児の生活に関心を持ち、意欲的に学習活動に取り組む。 （活動状況の観察・ノート・学習プリント・自己評価）
- ② 家庭と家族関係について見直し、課題解決を目指して自分なりに工夫する（作品・ノート・学習プリント・定期テスト）
- ③ 家庭と家族関係について調べたり発表したりすることができる。
 身近な材料を利用して安全なおもちゃを製作することができる。（作品・活動状況の観察・ノート・自己評価）
- ④ 幼児の生活をよりよくするために必要な基礎的な知識を身につけることができる（ノート・学習プリント・定期テスト）

